

# 不揃いの木を組む

～ 技を伝え 人を育てる ～

法隆寺、薬師寺金堂、西塔、法輪寺三重塔などは何百年後も永く建ち続けることを見据え、木のクセを読み、活かす宮大工の技により建てられています。このたび、1,000年以上も受け継がれた日本の木造建築技能を現在に伝える小川三夫棟梁の講演会を開催いたします。120人以上の弟子を送り出した小川棟梁はいかに技術を身に付け、多くの弟子を育成し、送り出していったのか。多くの企業を悩ませる「人材育成」と「技術力向上」への取り組みとは？この機会にぜひご参加ください。



【日時】平成30年7月28日(土)  
○ 講演会 15:00 ~ 17:00  
○ 交流会 17:30 ~ 20:00

【講師】宮大工 <sup>いかるが</sup> 鶴 工舎

小川 三夫 氏

【場所】「立山プリンスホテル」  
(大町温泉郷 ☎0261-22-5131)

【参加費】会員…1,000円/非会員…2,000円

※ 講演会終了後、引き続き交流会を行います  
※ 懇親会会費 ⇒ 1名 8,000円  
※ 宿泊代 7,000円



法隆寺



薬師寺金堂

【事務局】一般社団法人長野県建築士事務所協会  
TEL 0261-22-5208 / FAX 0261-85-5032

### 講師プロフィール

小川 三夫氏 斑鳩(いかるが)の 宮大工・西岡常一(文化財保存技術保持者)のただ一人の内弟子。奈良県の法輪寺三重塔再建工事、薬師寺復興工事に携わる。1977年、宮大工になりたいという若者たちをじっくり育てる場所として「鶴工舎」を設立。現在後進の育成に力を注いでいる。

### ■職歴・経歴

1947年 栃木県矢板市生まれ。1966年 栃木県立氏家高校卒業。高校の修学旅行で奈良へ行き、法隆寺の塔に魅せられ宮大工になる決意をし、1966年 西岡棟梁の門を叩くが、「弟子を養う余裕がない、弟子にするには歳をとりすぎている」と言われ、弟子入りを断られる。その後、修行を重ね、1969年に弟子入りを許され、法輪寺三重塔再建工事、薬師寺復興工事に携わる。  
1973年 法輪寺三重塔建設が再開されると、棟梁代理として活躍。  
1977年 宮大工になりたいという若者をじっくり育てる場所として「鶴工舎(いかるがこうしゃ)」を奈良県生駒郡斑鳩町に設立。  
1996年 株式会社鶴工舎を栃木県塩谷郡塩谷町に設立。  
1998年 建設省河川審議会専門委員(1年間)を務める。  
同年 第26回下野県民賞受賞  
2003年 卓越技能者「現代の名工」に選ばれる  
2008年 黄綬褒章受章

### ■著書

『木のいのち 木のこころ(地編)』(草思社)  
『不揃いの木を組む』(草思社)

----- 小川三夫棟梁講演会申込書 送信 FAX 0261-85-5032 (切り取らずお送り下さい) -----

事務所名		電話番号	
受講者氏名	①	講習会・交流会・宿泊	③
	②	講習会・交流会・宿泊	④

※ 各受講者の方において講習会・交流会・宿泊該当個所に○で囲ってください。